

# 研究所だより

第449号  
2022年11月10日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3015

“ ふけゆく秋の夜 旅の空の  
わびしき思いに ひとり悩む  
恋しやふるさと なつかし父母  
夢路にたどるは さとの家路  
ふけゆく秋の夜 旅の空  
わびしき思いに ひとり悩む ”

『旅愁』 唱歌 1907年(明治40年)



## ～晩秋～

暦の上では7日は「立冬」。この日から季節は冬になります。冬と呼ぶにはまだ早いですが、日脚も短くなり、北国から雪の便りが届く頃となります。また、陽射しが弱くなり紅葉が散り始める頃で、イチヨウや柑橘類は黄色く色づいてきます。

秋は湿度も下がり、夏の間はかすみがちだった空も透明度が増し、星が輝いて見えます。秋の夜空は夏に比べ明るい星がやや少なく寂しい感じもしますが、ギリシャ神話の星々が夜空を演出しています。寒さ対策を万全に、秋の空に描かれた星座たちを探してみるのも秋の夜長を楽しむ一つの過ごし方ではないでしょうか。8日(火)には、ほぼ全国各地で442年ぶりというダブル天体ショー「皆既月食+天王星食」が観測されました。次回日本で「皆既月食+惑星食」が見られるのは、322年後の2344年の土星食と予想されています。気が遠くなるようなお話ですね。

県内の新型コロナウイルス感染状況は減少傾向ですが、次第に冷え込みが厳しくなるとインフルエンザの流行も懸念されますので、引き続き基本的な感染防止対策(マスク、手洗い、うがい、3密回避、体調の管理)の徹底を心がけましょう。

(月刊日本教育 令和4年9月号)から

## GIGAスクール構想 一人一台端末時代の学校づくり

### 第15回 端末活用でつながりを生み出す

玉置 崇 教授(岐阜聖徳学園大学教育学部)

一人一台端末を活用する利点の一つに、子ども同士がつながることがあります。例えば、それぞれの端末に自分の考えを入力し、それを一元化されたサイトで、互いに確認しあう授業が、珍しいものではなくなりました。

今回は、このような端末を通して子どもたちがつながることに焦点を当てたいと思います。

#### ((( つながるチャンスを生かせず

実は、最近つながりをより深めるチャンスを生かせなかった授業を見ることができました。それは小学校の理科授業です。

それぞれが、端末で実験結果から考えられることを入力した後、教師から「他の人の書き込みを見て、

思ったことを書き込んでください」と指示がありました。この学級では、こうした活動が日常化しているでしょう。子どもたちは慣れたものです。スイスイと入力をしていきます。

多くの子どもが誰かの書き込みにコメント入力が終わるのを見計らって、書き込みを発表するように指示がありました。Aさんが指名されました。

「Bさんの考えと同じだったので、『私も一緒です』と入力しました」

教師は、「なるほど!」と頷き、「他に発表してくれる人は?」と。次に進んでしまいました。

この場面は、Bさんに、Aさんの書き込みをどう思ったのかと尋ね、AさんとBさんをリアルにつなぐべき場面です。ただ単に書き込みを発表するだけであれば、すでに互いの書き込みを各端末で見ているのですから、その価値はありません。

例えば、「自分の考えに書き込みをしてくれた人と意見交流してください」と指示をしたらどうでしょう。教室のあちこちで、端末を見ながらの交流が始まることでしょう。

こうした活動は、これまでではできなかったことです。デジタル入力とネットワークによって、意見集約が瞬時にできるからこそこの活動です。

#### ((( つながりたいという気持ちが大切

次の写真は、情報端末を持って、子どもが教室を移動して意見交流をしている場面です。冷静に考えれば、ノートでも持参しての交流ができるはずですが、端末画面は相手が見やすいということがあるのでしょう。一人一台端末が整備されてから、このような場面が生まれたように思います。

こうした場面を観察していて、気づくことができました。

子どもたちは、心から伝えたいと思っていると、伝える言葉に力強さがあるということです。伝えたいことが明確にある子どもほど、端末画面を指で示したり、相手の目を見て話したりします。つまり、つながることは、容易にできるようになりましたが、端末の有無にかかわらず、対話しようという気持ちを授業の中で高めているかが重要なのです。

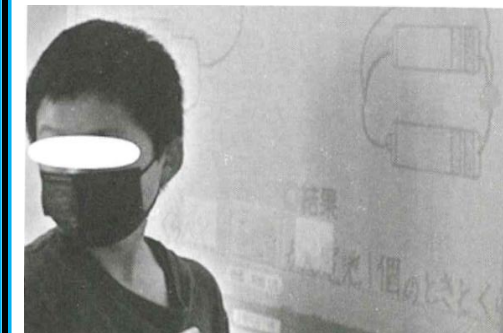
端末を持ってやりとりしている教室では、子どもたちから活力を感じて、教師は安心しがちです。しかし、そのやりとりの内容を軽んじてはいけません。活用状況だけに注目しては、いけないということです。

#### ((( 端末画面を通してつながる

下の写真は、理科授業の場面で、乾電池のつなぎ方を説明している場面です。何げない場面のように感じるとは思いますが、この場面に至るまでの過程が、とてもいいのです。

教師は、子どもたちが各端末に書き込んだ図を一元化して全員が見られるようにしたあと、次のように聞きました。

「みんなの書いた図の中で、この図は説明してほしいと思う図はありませんか」



この問いかけで、写真の子どもの名前が上がりました。説明することになったのです。この教師の素晴らしいところは、まず、なぜ説明してほしいと思ったのかを確認し、それについて答えるように話させたことです。情報端末でつながるきっかけを作り、それを有効に活用しようという意図がよくわかりました。つまり、子どもと子どもをつなぐのは端末ではなく教師だということです。単に端末を活用すればよい段階は、そろそろ卒業すべきです。



## ＝研究協力校の取組＝

清水中学校では、研究テーマに「『学校における教育活動のオンライン配信による教育効果について』～YoutubeLive 配信及び GoogleMeet (Web 会議システム) の有効活用を目指して～」を掲げ、取り組んでいます。

10月19日(水)には、市内外から多くの先生方に参加していただき、「英語科授業づくり講座：第2回授業研究会」が開催されました。

開会では、本講座の趣旨説明並びに提案授業の説明がありました。公開授業では、2年2組の生徒たちと弘田 華愛教諭による授業が行われました。

単元は、“Unit 5 Universal Design”、単元目標は、「ユニバーサルデザインに関する文書を読んで、概要を捉え、自分の考えを表現しよう」です。本時のねらいは、「見る人が興味を持つような動画のサブタイトルを考えるために、本文の概要を捉えることができる」です。

授業は、弘田先生のオーラルコミュニケーションによるアクティビティな Greeting でスタート。Small Reading ではユニバーサルデザインについての英文を読み、Q&A で概要を捉えています。展開では、前時を振り返りながら、オーラルコミュニケーションによる授業展開に生徒たちが積極的に英語を使って応答していきます。本文全体の概要を掴むためにデジタル教科書、ワークシートを使い理解を深めていきます。まとめではタブレット端末を用いてサブタイトルを書き込んでいき、classroom を使って友だちと共有していききました。

生徒たちは、辞書を片手に、そして端末を巧みに操作しながら、楽しく授業に参加していたように感じました。参観の先生方もアクティビティな授業展開とデジタル教材やタブレット端末を活用した授業内容に惹きつけられていました。



〔授業づくり講座〕

## ～第2回教育研究所運営審議会～

11月7日(月)に第2回教育研究所運営審議会を開催しました。本年度前期(4月～10月)の事業実績(下記の9項目)について報告、意見交換を行いました。

### 1. 教職員の資質向上の取組

#### 【補助事業】

(1)教育研究推進事業：教育研究集会〔全体会(講演) 部会研修〕の運営

・教研推進委員会の開催(年6回 含一日教研準備会)

(第1回4/12 第2回7/26 第3回8/2準備会 第4回10/7 第5回12/8 第6回2月予定)

・教研活动

①組織教研4/20 ②代表者会5/26 ③一日教研8/3 ④半日教研11/9 ⑤総括教研

(2)教育研究活動事業：研究協力校(2校：三崎小・清水中)の取組

2. 転入教職員研修会(地域学習会)の開催(年2回：①5/26 ②6/10)

### 3. 調査研究の推進

(1)外国語・英語教育(授業づくり・授業改善)についての研究

〔小中連携(全校授業支援)、教研外国語部会・教科会への参加支援、教材の開発・研究等〕

(2)【連携・支援】学力向上検討委員会(年2回：①9/22 ②2月予定)

①各校の学力調査結果の分析状況 ②今後の学力向上に向けた取組 ③更なる学力向上に向けた課題と今後の方策等

### 4. 豊かな心と健やかな体の育成の取組

①定期的な学校訪問(児童生徒の状況把握・情報交換等)

②教育支援コーディネーター(あすなろネットワーク)連絡協議会の開催(年4回：①5/31 ②8/22中止 ③12月予定 ④1月予定)

③適応指導教室「あすなろ教室」への支援

④SSW・ORSC・YCCとの連携

(スクールソーシャルワーカー・アウトリーチ型スクールカウンセラー・ヤングケアラーコーディネーター)

### 5. 情報教育に関する事業

・HPの更新等…GIGAスクールサポーターによる支援

・「土佐清水市のくらし」WEB版デジタルbookの作成(試作版)、配信  
\* GIGAスクールサポーターによる支援

### 6. 資料収集に関する事業

・教育資料(図書・教材など)の購入・紹介

\* 市民図書館所蔵DVD(平和教材)の紹介

### 7. 刊行物

①『研究所要覧』の発行

②『研究所だより』の発行(4月No.442～10月No.448)

8. 教育研究所運営審議会(年3回：①6/7 ②11/7 ③3月予定)

9. 高知県教育研究所連絡協議会(年2回)

・第1回春季教育研究所連絡協議会(5/25 オンライン研修)

・第2回秋季教育研究所連絡協議会(11/25 黒潮町大会)



委員の皆様からいただいた意見等は、後期の教育研究所の運営・研究推進に生かしていきたいと思います。